

業績／主要な経営指標等の推移

Jimoto Holdings

経済環境

2020年9月期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いているものの、個人消費や輸出についてはこのところ持ち直しの動きがみられました。当社グループの営業エリアである宮城県経済及び山形県経済

につきましても、感染症の影響により雇用に弱い動きがみられますが、個人消費及び生産活動は緩やかな持ち直しの動きとなりました。

じもとホールディングス

業績

このような環境のもと、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症により事業運営に支障をきたしている事業者を支援することが、地域金融機関が果たすべき役割であると認識しており、支援体制の整備を進めてまいりました。また、「お客さまに喜ばれ、信頼され、『じもと』とともに進化・発展する新たな金融グループを創設する」という経営理念のもと、グループ役員が丸となって宮城と山形をつなぎ、両県の経済交流の発展に貢献してまいりました。2018年4月からスタートした3カ年の「中期経営計画」では、「顧客本位の本業支援」と「統合効果の発揮」をキーワードとし、本業支援を核とする持続可能なビジネスモデルの確立と、グループ業務運営態勢の再構築による効率化・合理化を推し進めております。2020年度は、中期経営計画の最終年度として取組みの成果を具体的に示す年度であり、グループ丸となって本業支援の深化・サービスの拡充に取り組むことで、感

染症により影響を受けている事業者の安定的な事業継続に貢献するとともに、統合効果を一層発揮するべく、業務プロセスの見直しや事務の統一化を図ってまいります。

2020年9月期における当社グループの経常収益は、その他経常収益が減少したものの、資金運用収益が増加したことなどから前年同期比16億37百万円増加の213億29百万円となりました。経常費用は、営業経費が減少したもののその他業務費用が増加したことなどから、前年同期比11億66百万円増加の199億10百万円となりました。

その結果、経常利益は、前年同期比4億70百万円増加の14億19百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、連結子会社であるきらやか銀行において繰延税金資産の取り崩しにより法人税等調整額が増加したことなどから、前年同期比6億47百万円減少の64百万円となりました。

主要な経営指標等の推移（連結）

(単位：百万円)

決算年月	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2019年3月期	2020年3月期
連結経常収益	21,398	19,670	21,329	42,850	42,354
連結経常利益	1,760	948	1,419	2,592	2,571
親会社株主に帰属する中間純利益	1,242	711	64	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	1,630	1,733
連結中間包括利益	2,706	214	2,141	—	—
連結包括利益	—	—	—	1,377	△ 3,163
連結純資産額	117,638	115,302	112,896	115,732	111,185
連結総資産額	2,529,933	2,495,985	2,666,885	2,503,137	2,487,782
1株当たり純資産額	319.65 円	307.10 円	2,952.81 円	309.19 円	285.12 円
1株当たり中間純利益 (△は1株当たり中間純損失)	6.23 円	3.24 円	△ 3.67 円	— 円	— 円
1株当たり当期純利益	— 円	— 円	— 円	7.68 円	8.24 円
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	2.41 円	0.95 円	— 円	— 円	— 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	— 円	— 円	— 円	2.90 円	2.35 円
自己資本比率	4.63 %	4.60 %	4.22 %	4.60 %	4.46 %
連結自己資本比率 (国内基準)	8.70 %	8.24 %	8.29 %	8.39 %	8.07 %
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 370	△ 9,949	93,189	△ 73,709	△ 7,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	56,072	43,436	△ 8,702	84,546	35,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 607	△ 649	△ 439	△ 1,185	△ 1,389
現金及び現金同等物の中間期末 (期末) 残高	205,864	193,258	271,447	160,421	187,399
従業員数 (外、平均臨時従業員数)	1,832 人 (551 人)	1,788 人 (508 人)	1,728 人 (462 人)	1,775 人 (546 人)	1,730 人 (502 人)

(注) 1. 当社及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
2. 「1株当たり純資産額」の算定上、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を（中間）期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。また、「1株当たり中間（当期）純利益又は1株当たり中間純損失（△）」及び「潜在株式調整後1株当たり中間（当期）純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
3. 自己資本比率は、（中間）期末純資産の部合計（中間）期末非支配株主持分を（中間）期末資産の部の合計で除して算出しております。
4. 連結自己資本比率は、銀行法第52条の25の規定に基づく2006年金融庁告示第20号に定められた算式に基づき算出しております。当社は国内基準を採用しております。
5. 2020年10月1日付で普通株式並びにB種優先株式、C種優先株式及びD種優先株式について10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
6. 2020年9月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算出しております。
7. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、2020年9月期は1株当たり中間純損失が計上されているので、記載していません。